

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	交通拠点間の連携により物流を効率化し、地域経済を活発にする成田国際空港へのアクセス強化（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	千葉県												
計画の目標	首都圏及び我が国における経済発展の核となる国際的な戦略拠点である成田国際空港へのアクセス時間を短縮し、物流機能の高度化、企業誘致の推進を図り、地域経済の活性化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,710	A	3,710	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	成田国際空港貨物取扱量の増加 成田国際空港貨物取扱量（東京税関）資料を使用する。 (成田国際空港貨物取扱量増加割合) = (評価時の取扱量 - H30当初の取扱量) / (H30当初の取扱量)	0%	%	13%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	改築	(国)464号 北千葉道路	バイパス L=7.9km	印西市 成田市						3,466		-		
	A01-002	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	(主)成田小見川鹿島港 線 成田市 取香	現道拡幅 L=1.5km	成田市						3		-		
	A01-003	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	(主)成田小見川鹿島港 線 成田市 川上	現道拡幅 L=2.2km	成田市						196		-		
	A01-004	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	(主)成田安食線 成田 市 押畑	現道拡幅 L=1.0km	成田市						45		-		
												小計						3,710			
												合計							3,710		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 整備計画担当課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和6年3月
	公表の方法 千葉県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	成田国際空港へのアクセス強化を目的とした道路整備は、概ね計画通り推進された。しかし、感染症の拡大や国際情勢の不安定化等により、国内外における経済の停滞や旅客便の大幅減便等が生じ、目標値は達せなかった。 【本事業完成で発現される効果】 A01-002 (L=1.5km)、A01-003 (L=2.2km)、A01-004 (L=1.0km) の現道拡幅により、成田国際空港へのアクセス機能が強化されている。但し、国際情勢の不安定化は継続しており、取扱量は増減を繰り返す等不安定となっている。 【成田国際空港貨物取扱量】 H30当初：約226万t R4：約235万t (約4% ) R4 R5：約187万t (約20% )
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
特記事項 (今後の方針等)	
未供用区間については、引き続き国庫補助金等を活用し、早期の開通を目指して事業を推進していく。 【未供用区間】 A01-001のうちL=3.7km (成田市押畑～成田市大山)	

